

## 【重要なお願い】

本機をインターネット上で直接閲覧できる環境でご利用する場合、セキュリティ強化型設定（発注時のみ指定可能）にて手配してください。

それだけでは確実な保護は難しいので、ご購入前にネットワーク管理者、業者様にご相談いただき、最低でもFW（ファイアウォール）装置の追加、設定をご検討ください。

## 背景と内容

WMS2はLinux OSを用いた組込Webサーバ内蔵型のデータロガー(Web ロガー)です。本機はLANに接続し利用しますが、その性格上セキュリティリスクを負う可能性があります。

多くの場合、セキュリティの管理された会社、学校などのイントラネットでご利用になる場合、ネットワークセキュリティをある程度強化した状態に確保するのは容易ですが、外部インターネットより直接アクセス可能な状態で利用する場合、イントラネット同様なセキュリティ強化された状態を確保するのは難しく、不正な侵入を受けて情報漏洩、改竄、スパムメールの踏み台になるなど深刻なリスクを負う場合があります。

弊社は、本機で発生するいかなるセキュリティリスクに対しても責任を負うことはできませんが、本機内部で利用している機能でセキュリティリスクが高めのサービスは停止、変更して出荷する設定オプション（基本設定は無償、詳細設定は有償）をご用意しております。

インターネット上で直接閲覧できる環境を構築する際は、必ずネットワーク管理者、業者様にご相談いただき対処してください。

## WMS2 出荷時セキュリティ設定

機能名称	イントラ向け (標準出荷時)	セキュリティ強化型 (ご発注時指定)
FTPサーバ機能	有効	無効
ソケット通信機能	有効	無効
SSH機能(アップデートメンテナンス用)	有効	停止
Webサーバ機能	直接アクセス	BASIC認証追加 (アクセス時、ID/パスワードを入力後利用可能)
メール送信、応答機能	有効	無効

注1：標準はイントラネット向けとして出荷されます。

注2：BASIC認証のID/パスワードは、出荷時に設定します。